

人権だより (第1号)

令和元年5月13日

人権教育委員会

5月10日(金)に人権教育講演会を行い、生徒と保護者が一緒に人権について学びました。

講師に岡山大学の中山芳一先生をお迎えして、「他者とのコミュニケーションのとり方」という演題でお話をいただきました。ペアトークやグループワークなどの笑いあふれる場面だけでなく、となりのトトロのお話などの、ほろりと感動する場面もあり、親子、教員共に大変勉強になる時間を過ごすことができました。



【生徒の感想】

*友達の誘いを断るとき、どのように言えば相手が嫌な気持ちにならず、納得してもらえるかを毎回悩むので、これからは、今日の講演で教えていただいた5つのポイントを使いたいです。

*私は、人前に立って話をするのが苦手なので、あまりコミュニケーションが上手くないと思っていましたが、今日の講演を聴き、コミュニケーション能力は3段階あるうちの一番下ができていれば十分であると教えていただいて一安心しました。

*コミュニケーションのとり方にもいろいろあって、相手の気持ちを読み取るだけでよいのなら、自分でもできると思いました。私は自己主張が苦手で、自分の思いを心にとどめている場合が多いので、なるべく主張して、なおかつ攻撃的にならないようにしたいです。

*コミュニケーションには、様々な種類やとらえ方があり、状況に応じた思考と判断が必要だということが分かりました。また、他者の気持ちを考え、頭をきちんと使いながら「アサーティブ」にコミュニケーションをとろうと思います。

【保護者の感想】

*子どもにも親にもよく分かる内容で、ペアワークやグループワークによって、保護者同士も交流を図れるチャンスも作っていただき楽しかったです。大変勉強になりました。

*あいさつの考え方や思いやりは心ではなく頭で考えるということが納得できました。今の私たちに必要な講演会だったと思います。

*今、子どもが友達との関係で悩んでいるようでしたので、今日の話聞いて少し話の仕方が分かったのではないかと心休まる思いです。帰ったらゆっくり話をしてみようかな！何歳になろうとも親子の会話は大切ですね。